

ミ ニ シ タ ー
あぜみち通信

* * * * *

平成28年9月1日

第189号

編集・発行：(一社) 愛知県農業会議

◎ **農業者年金重点市町村・JA打合会を開催しました**

農業者年金の愛知県の加入状況は、加入者累計が895人で平成27年度の新規加入者は合計30人とどまっています。

6月に農業者年金に関わる5者(一般社団法人愛知県農業会議、JAあいち中央会、一般社団法人全国農業会議所、JA全中、独立行政法人農業者年金基金)の協議により、28年度は6市、6JAを重点市町村、重点JAに指定しました。

これを受けて、重点市町村、重点JA、農業会議、JA中央会、農業者年金基金による打合会を8月3日に田原市役所(東三河地域)、8月4日に名古屋市中区のJAあいちビル(尾張・西三河地域)で開催しました。

農業者年金基金から現状と今後の加入推進について、農業会議から28年度加入推進の取組方針等を説明し、加入推進名簿の精度向上と共有化、農業委員会総会やJA役員会での制度説明、戸別訪問、諸会議・研修会等でのPRチラシの配布などを依頼し、その後、意見交換を行いました。

なお、重点市町村以外の農業委員会においても、総会等での制度説明、戸別訪問、PRチラシの配布等をお願いします。

必要があれば農業会議職員が説明に伺います。

◎ **名古屋市農業委員会が農業施策に関する要請活動を行いました**

8月4日に名古屋市農業委員会(上田幸雄会長)から「平成29年度名古屋市農業施策等に関する意見書」が川上万一郎会長に提出されました。

意見書の主な内容は、農地に係る相続税や固定資産税といった税制上の軽減措置、区画整理等により農地の細分化が進んでいる現状を踏まえた利用しやすい生産緑地制度への改善、営農上及び地域の防災面において支障をきたすおそれのある状況となっている農業用排水路の老朽化



【川上会長に要請する上田名古屋市農業委員会会長(中央)】

等に対する予算措置、実際に営農している農業者の下で経営のノウハウが学べる就農希望者に対する研修制度の強化などとなっています。

要請の趣旨は、これらの中には、市町村では解決できない制度上の課題もあることから、関係各所への働きかけに農業会議の協力を依頼するというものです。

◎ 理事会を開催しました

8月4日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県農業会議の平成28年度第2回理事会を開催しました。平成27年度事業報告、平成27年度歳入歳出決算書及び理事の補欠選任については、いずれも承認されました。

これを受けて、これら三つを議題として、8月26日に通常総会を開催することとされました。

◎ 常設審議委員会（8月）の審議状況について

8月4日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る市町村農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

8月の諮問は、農地法第5条に基づく転用事案 8件、45,347㎡について審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

◎ 豊田加茂地域協議会及び西三河地域協議会を開催しました

愛知県農業会議では、平成28年度から一般社団法人に改組したのを契機に、従来の支部に替えて新たに八つの地域協議会を設置しました。

構成員は、従来の支部においては、農業委員会会長及び事務局長でしたが、これに市町村の農政担当部課長等を加え、これまで以上に会員相互の連絡調整や情報の共有化を強化することを目的としています。

8月9日午前に豊田加茂、同日午後西三河の平成28年度第1回地域協議会を開催しました。両地域協議会とも規約を制定した後、会長による互選の結果、豊田加茂は光輪龍雄氏（豊田市）を会長に選出し、西三河は石川喜久雄氏（西尾市）を会長、小久井正秋氏（岡崎市）を副会長に選出しました。また、今後の活動の方向性等について意見交換議論しました。

◎ 農林漁業就職フェアが開催されました

8月10日、住友生命名古屋ビル（中村区）において、農林漁業就職フェア（主催＝愛知労働局、ハローワーク、東海農政局、愛知県、県農業会議、県林業振興基金、県農業協同組合中央会、県漁業協同組合連合会）が開催されました。参加企業は7社で約80名が来場しました。

内容は、始めに農林漁業就職ガイダンスとして、農林漁業の職業、仕事に就くための支援策、職業訓練、自ら始めるための方策等について、関係機関の担当者がプロジェクターを使って説明しました。

続いて、就職面接会・個別相談会として、企業ブース（7社）と個別相談ブース（農業、林業、漁業、ハローワーク）の各分野の専門担当者らが来場者からの相談に応じ

たり、求職者との面接を行ったりしました。農業ブースの相談件数は、合計で14件ありました。

◎ あいち米の初出荷式が行われました

8月12日に「JAあいち海部鍋田支店集出荷場」において、愛知県経済農業協同組合連合会及びあいち海部農業協同組合共催の平成28年産あいち米初出荷式が開催されました。

式典は、主催者の大木経済連常務理事、日永あいち海部農協代表理事組合長の挨拶、来賓祝辞の後、ミス弥富の犬飼阿弥佳さんに一日検査員を委嘱し、出荷米（あきたこまち）の検査を行い、検査結果は1等でした。

次いで、あぐり父さん、ミス弥富、来賓及び主催者による出発式（テープカット）が行われ、平成28年産あいち米を載せたトラックを送り出しました。

式典終了後は、消費者交流会が開かれ、新米のおにぎりなどの試食が提供されました。今年の作柄については、品質は良好とのことでした。

◎ 農業者年金加入推進特別研修会を開催しました

8月23日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、独立行政法人農業者年金基金の共催により「平成28年度農業者年金加入推進特別研修会」を開催し、県内各地の加入推進部長、農業委員、事務局職員等約60名が出席しました。

研修会では、最初に農業者年金基金の中園良行理事長から農業者年金制度の概要と加入推進の取組について説明した後、県内の加入推進事例として、美浜町における農業委員会とJAあいち知多美浜事業部の取組について発表がなされました。

次いで、農業者年金基金が今年度作成したDVDを視聴した後、農業会議から28年度の加入推進取組方針、5者協議に基づく特別活動計画の取組等について説明しました。

◎ 知多地域協議会を開催しました

8月25日に愛知県農業会議の平成28年度第1回知多地域協議会を開催しました。規約を制定した後、会長による互選の結果、稲葉きみ子氏（大府市）を会長、鵜飼泰弘氏（美浜町）を副会長に選出しました。また、今後の活動の方向性等について意見交換しました。

◎ あいち農業女子交流会が開催されました

8月25日に名古屋市中村区の「ウインクあいち」において、あいち農業女子交流会が開催されました。主催は、愛知県（農業経営課）で、農林水産省東海農政局、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業会議が協力機関です。

主催者挨拶の後、美容家の佐伯チズ氏による「願えば、かなう」と題する講演会が開催されました。その後、「女性が輝く次代」をテーマに名古屋大学副理事の東村博子氏をコーディネーターとして、各地で活躍している女性農業者によるパネルディスカッションが行われました。

併設の催しとして、女性農業者の声を活かして女性向けに開発された製品等の展示
・PRを内容とする女性農業者応援企業展示が行われました。

◎ 一般社団法人愛知県農業会議の総会を開催しました。

8月26日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県農業会議の平成28年度通常総会を開催しました。28年4月に従来の認可法人から一般社団法人に移行して初めての総会です。

主催者として川上万一郎会長が挨拶した後、臨席いただいた来賓の森岡仙太愛知県副知事、森下利久愛知県議会副議長、津垣修一東海農政局次長及び吉田濱一愛知県農協中央会会長から御祝辞を頂戴しました。



【挨拶する川上会長】

第1号議案平成27年度事業報告の承認、第2号議案平成27年度歳入歳出決算書の承認及び第3号議案理事の補欠選任については、いずれも承認されました。

また、第3号議案の承認を受けて、総会の途中に理事会を開催し、欠員となっていた副会長に鈴木淳雄理事（愛知県市長会長、東海市長）を選定しました。

総会の終了後に農業委員会会長等を対象とする研修会を開催しました。公益財団法人愛知県農業振興基金の可知祐一郎理事長を講師に迎え、将来の生産力を客観的に予測し、新たな担い手の確保育成策の検討に役立つことが期待される生産構造分析についてお話をいただきました。



【鈴木新副会長】

◎ 「農の雇用」事業説明・研修会等を開催しました

8月29日に中村区の「ABC貸会議室」において、農の雇用事業の研修生を対象とする「事業説明・研修会」を開催しました。研修事項は、「農の雇用事業」の仕組みと事業実施上の留意点を始め、助成金交付申請書の記載方法と留意点、現地確認調査、研修生自己紹介を行った後、(株)扶桑農産の代表取締役である小川嘉吉氏を講師として、「研修生の心構えについて」と題する講演を行いました。

翌8月30日には、同会場において、農の雇用事業の経営者又は研修責任者を対象とする「指導者養成研修会及び就業規則作成研修会」を開催しました。研修事項は、「農の雇用事業」の仕組みと事業実施上の留意点を始め、助成金交付申請書の記載方法と留意点、現地確認調査、労務管理上の留意点及び雇用関係助成金を活用しての職場環境の向上であり、応募申請時に就業規則を提出していない経営体については、就業規則の意義や作成方法についても研修事項としました。

◎ 農業委員会の適切な新制度への移行等に関する説明会が開催されました

8月30日に名古屋市市中村区の「ウインクあいち」において、東海農政局主催の「農業委員会の適切な新制度への移行及び農地の集積・集約化の推進に関する説明会」が開催されました。

東海3県の農業委員会事務局、農林水産事務所、農地中間管理機構、農業会議、県庁の担当職員が出席しました。

農業委員会の適切な新制度への移行、農地利用最適化交付金、農地情報公開システムを活用した農地の集積・集約化の推進について説明がなされ、出席者から女性、若者の候補者が少なかった場合における募集期間延長の取扱や報酬条例におけるインセンティブに係る加算部分の取扱等について質問や意見が出されました。

◎ 新城設楽地域協議会を開催しました

8月31日に愛知県農業会議の平成28年度第1回新城設楽地域協議会を開催しました。

規約を制定した後、会長による互選の結果、森田尚登氏（新城市）を会長、後藤初博氏（設楽町）を副会長に選出しました。また、今後の活動の方向性等について議論しました。

◎ 第23回「農業委員会だより」全国コンクール参加募集について

全国農業会議所が第23回「農業委員会だより」全国コンクールへの参加募集を行っています。

審査の対象となる広報誌は、平成28年1月から12月までの1年間に発行された「農業委員会だより」等です。

平成28年11月30日（水）までに愛知県農業会議へ応募していただきますようお願いいたします。

◎ 今後の主な行事予定

- 9月 1日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈尾張会場〉（稲沢市）
- 9月 6日 常設審議委員会（三の丸庁舎）
- 9月 6日 都道府県農業会議事務局長会議（東京都）
- 9月 7日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈西三河会場〉（知立市）
- 9月 9日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈東三河会場〉（豊川市）
- 9月12日 農業会議職員農政・農地専門地区別研修会（大阪府大阪市）
- 9月22日 新・農業人フェア2016〔名古屋会場〕（中村区）
- 9月28日 農業会議東三河地域協議会（豊橋市）
- 9月29～30日 新聞事業ブロック会議（静岡市）

農政の動きを知り経営に役立てる

全 国 農 業 新 聞

全国農業新聞は、農業委員会組織が編集・発行している情報紙です。

★まとめて読める！週刊紙★

- 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 地域の情報をカラーで生き活きと
- 農業・農村現場や農業者の思いを伝承
- 経営・流通に役立つ最新情報が満載
- 老若男女すべての方の元気を応援
- 文字が大きく読みやすい

発行日：毎週金曜日

購読料：月額700円、年8,400円（消費税込）

情報事業の推進には農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆様のご協力が必要不可欠です。

見本紙等をご希望の場合は、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先：一般社団法人愛知県農業会議

TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399

◆発行所：一般社団法人全国農業会議所〒102-0084東京都千代田区二番町9-8◆